

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

特殊機能「DPF」による DPF 強制再生/日野 DPR 編

注意事項/必ずお読みください

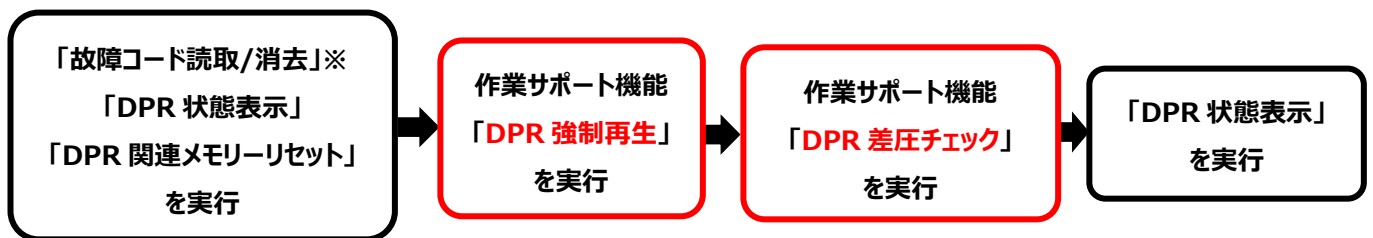
- 本書は日立ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1.DPF 再生を実施する場合の操作方法について

HDM-10000 では下記(1)(2)のいずれかで DPF 再生を行うことが可能です。なお、(1)(2)ともに DPF 再生は車両状態により 30～60 分程度かかります。

(1)特殊機能「DPF」から行う場合

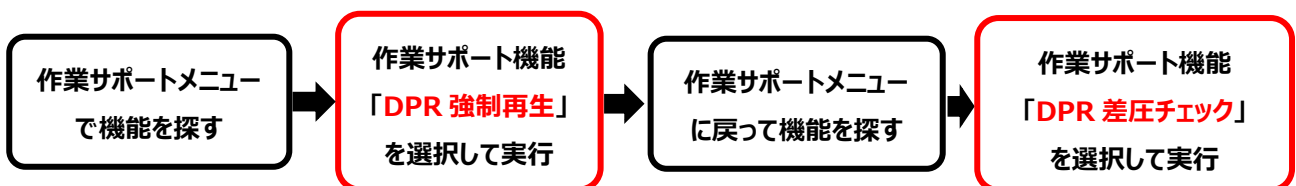
HDM-10000 の特殊機能「DPF」は下図の様に DPR(日野での DPF の呼称)の再生に関連する診断機能と作業サポート機能を連続して実行することができるので、作業サポートメニューに戻る操作を省略することが可能です。定期点検や車検時に DPR 再生が必要な時にご活用ください。本書では特殊機能による DPR 再生について 2 ページ以降から解説します。



※「故障コード読取/消去」で消去ができない故障コードが記憶されているときは安全のため、本機能による DPR 再生は中断されます。その際は、日野診断ソフトで故障コードの確認、不具合箇所の点検と修復を行ってください。

(2)日野診断ソフトの作業サポートメニューから行う場合

通常、2 つの作業サポート機能を使用します。下図の様に作業サポートメニューで機能を選択する操作が必要です。



(次ページに続きます)

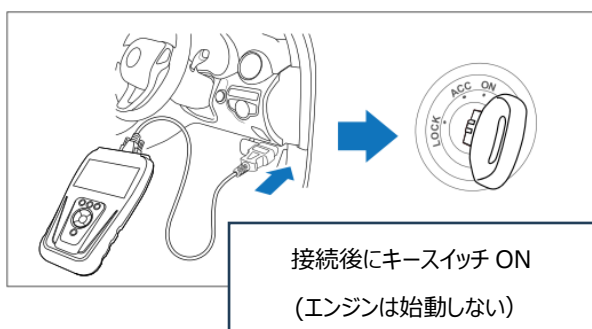
2.特殊機能「DPF」による日野 DPR の再生手順

【特殊機能「DPF」の使用にあたっての注意事項】

- ①換気が十分に行える安全な場所に車両を停止させて、完全暖機してから実行してください。
- ②DPR 再生中は排気管周囲が高温になります。排気管回りに可燃物が無いか確認してください。
- ③シフトレバーがニュートラルであることを確認してください。(AT 車は P レンジ)
- ④パーキングブレーキをかけてください。
- ⑤アイドルストップ装着車はアイドルストップスイッチを OFF(解除)してください。
- ⑥PTO 装着車は PTO の作動を停止させてください。

【手順 01:HDM-10000 の車両への接続から特殊機能の起動まで】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側キースイッチを ON にしてください。
- ③HDM-10000 メニュー内の特殊機能を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 02:DPF の起動からメーカー選択まで】

- ①特殊機能が表示されます。「DPF」を選択して ENTER キーを押してください。DPF の画面が表示されます。



- ②画面の右側の一覧で「日野」を選択して ENTER キーを押してください。



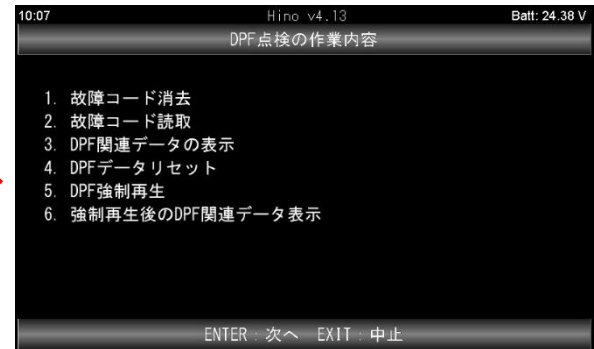
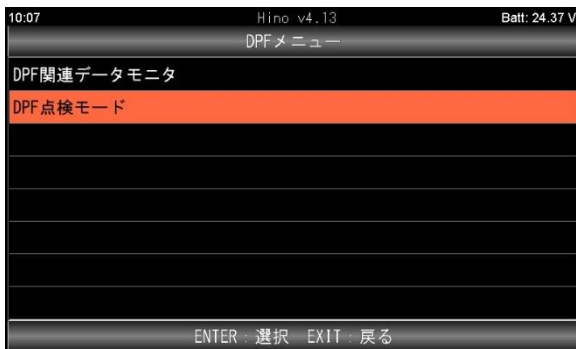
(次ページに続きます)

【手順 03:車両選択/自動検出から DPF 点検の作業内容の表示まで】

①「車両選択」が表示されます。「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。画面に「接続確認中・・・しばらくお待ちください。」と「車両搭載システム確認中」が表示されたあと「DPF メニュー」が表示されます。



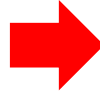
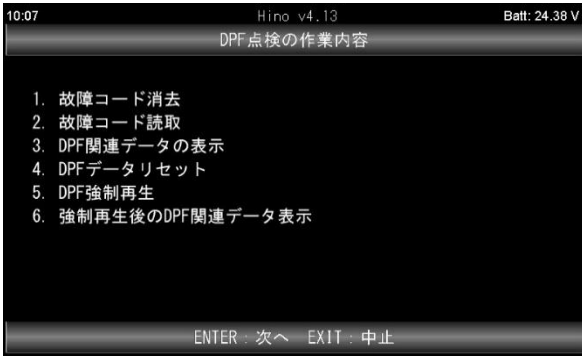
②「DPF 点検モード」を選択して ENTER キーを押してください。「DPF 点検の作業内容」が表示されます。



(次ページに続きます)

【手順 04:DPF 点検の作業内容の表示から DPR 再生データリセットまで】

- ①「DPF 点検の作業内容」が表示されたら ENTER キーを押してください。次に「DPF 点検モードを開始します」が表示されたら ENTER キーを押してください。

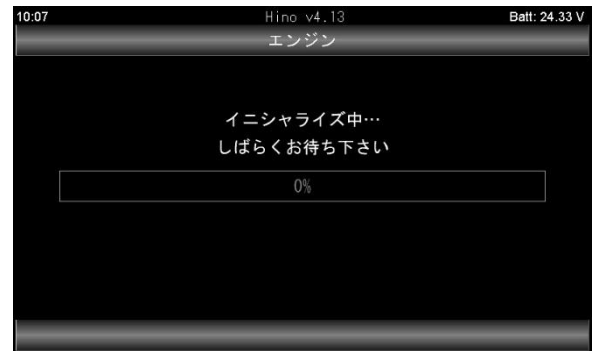


- ②「イニシャライズ中・・・しばらくお待ちください」表示されます。

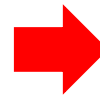
この時、故障コードの消去と読取を行っており、「自己診断の消去中」と「自己診断中」のメッセージも画面に表示されます。

故障コードの消去が完了すると「DPR 状態表示」が表示されます。

※故障コードの消去ができない場合の表示については
7 ページの注記を参照ください。



- ③「DPR 状態表示」が表示されたら画面下部の「次へ」(白矢印で示す箇所)の色が赤色に反転していることを確認してから ENTER キーを押してください。「DPR 関連メモリーリセット」が表示されますので、車両がキー-ON の状態であることを確認してから ENTER キーを押してください。



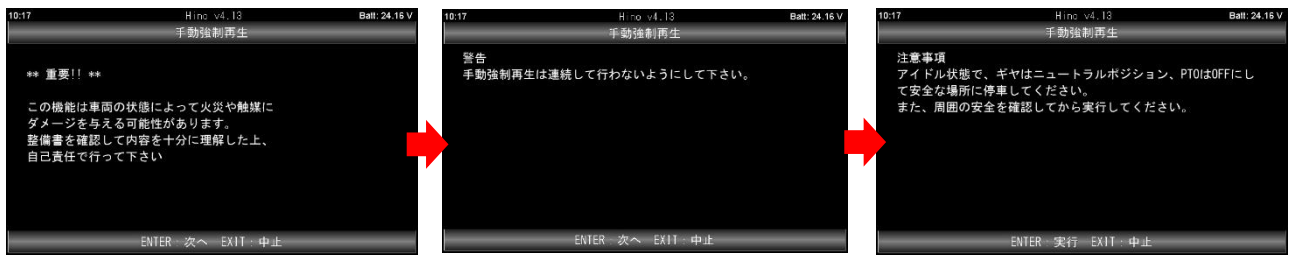
- ③「全項目リセットしました。」が表示されたら ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 06:強制再生から掃気運転まで】

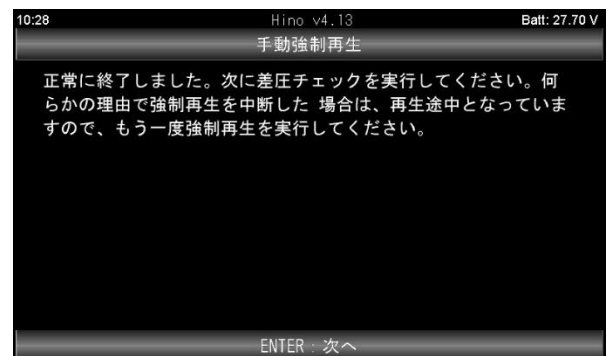
- ①強制再生にあたっての注意事項が表示されます。「重要!!」「警告」「注意事項」のそれぞれの表示内容を確認してから ENTER キーを押してください。



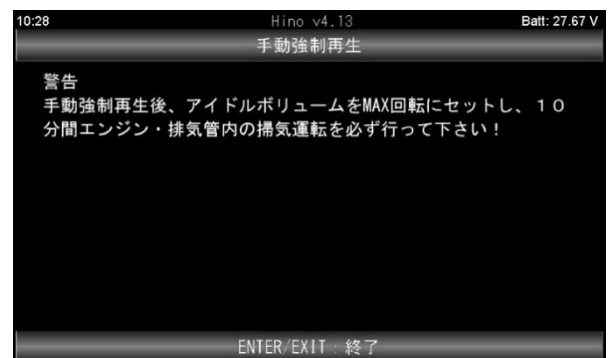
- ②「手動強制再生」が表示されたらエンジンを始動し、車両側の DPR 再生スイッチを押してください。強制再生を開始します。



- ③DPR 強制再生が終了すると右の画面が表示されます。ENTER キーを押してください。

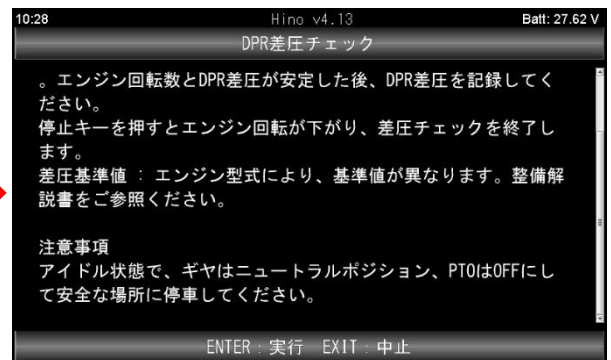
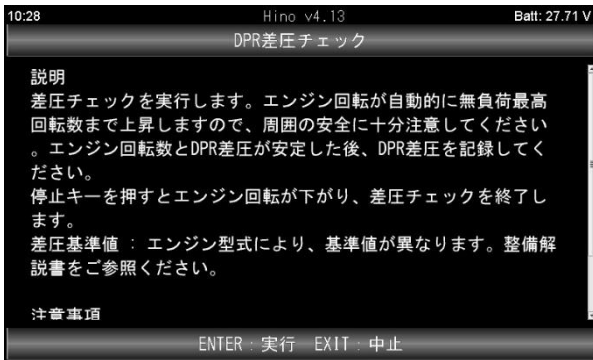


- ④右の画面の表示にしたがい車両を操作して掃気運転をおこない、完了したら ENTER キーを押してください。

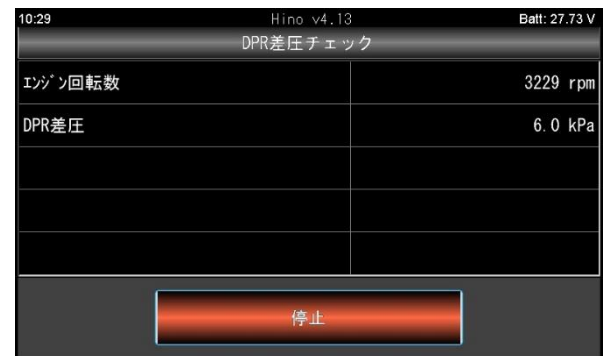


【手順 07:DPR 差圧チェックから終了まで】

- ①「DPR 差圧チェック」が表示されます。画面を上下キーでスクロールさせて表示されている内容を確認し、ENTER キーを押してください。



- ②「イニシャライズ中しばらくお待ちください」が表示されたあと「DPR 差圧チェック」が開始されます。エンジン回転数が上昇しますので整備解説書に記載されている基準値との比較をおこない、完了したら ENTER キーを押してください。



- ③「イニシャライズ中しばらくお待ちください」が表示されたあと「DPR 状態表示」が表示されたら画面下部の「終了」(白矢印で示す箇所)の色が赤色に反転していることを確認し ENTER キーを押せば終了です。



【注記:消去ができない故障コードが検出された場合の動作について】

4 ページの手順 05 の②で「イニシャライズ中……しばらくお待ちください」が表示されているときは同時に故障コードの消去と読取を行っており、消去ができない故障コードを検知したときは安全のため、下図㉖を表示して DPR 再生を中断し、以後、故障コードが消去されるまでは DPR 再生の実行を停止します。

下図㉗が表示されたら、下図㉘～㉙に進み、消去できなかった故障コードの確認と、日野診断ソフトによる故障コードの確認、該当箇所の診断と整備、故障コードの消去を行ってください。



(2025.2 発行)